
INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2010年第11週
(3月15日～3月21日)

- * 2010年3月24日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
 - * 今週は月報告(2010年2月)も掲載しています。

平成22(2010)年3月25日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター疫学情報室

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数 2010年11週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		8週	9週	10週	11週	年累計	11週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							1
	結核	81	68	52	42	784	255	4471
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ (H5N1)							
三類	コレラ					1		2
	細菌性赤痢		1		1	15	2	35
	腸管出血性大腸菌感染症	1		1	1	28	20	224
	腸チフス						2	5
	パラチフス	1				1	1	3
四類	E型肝炎		1	1	1	5	1	16
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1		3	4	13	13	51
	エキノコックス症							1
	黄熱							
	オウム病							1
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサナル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	つつが虫病					3		30
	デング熱			1	2	6	7	23
	東部ウマ脳炎							
	鳥インフルエンザ (H5N1を除く)							
	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱					1	2	4
	日本脳炎							
	発しんチフス							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	ボツリヌス症							
	マラリア		1			5	2	14
	野兔病							
ライム病	1				1		3	
リッサウイルス感染症								
リフトバレー熱								
類鼻疽					1		2	
レジオネラ症	1	1			7	4	107	
レプトスピラ症				1	1	1	2	
ロッキー山紅斑熱								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		8週	9週	10週	11週	年累計	11週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	5	5	1	5	34	11	169
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		3	3		11	3	36
	急性脳炎 *2	1		1	3	8	5	68
	クリプトスポリジウム症					1		1
	クロイツフェルト・ヤコブ病		1		1	3	1	32
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	1			4		31
	後天性免疫不全症候群	13	9	6	15	101	22	256
	ジアルジア症		1			3		15
	髄膜炎菌性髄膜炎						1	2
	先天性風しん症候群							
	梅毒	2	1	6	5	33	5	110
	破傷風						1	12
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症				1	4	2	16
	風しん				1	2	2	16
麻しん		3	1	1	11	3	92	
新型※	新型インフルエンザ	—	—	—	—	—	—	
2010/3/24集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

※新型インフルエンザ等感染症: 2009年4月28日に指定された。

(全数把握対象疾患のコメント)

〈二類感染症〉

結核 42件 肺結核17件、その他の結核21件、肺結核及びその他の結核4件で、推定感染地は国内41件、国内及びミャンマー1件、年齢は5歳未満1件、20歳代4件、30歳代8件、40歳代10件、50歳代5件、60歳代5件、70歳代4件、80歳代4件、90歳以上1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 菌種はソンネ。推定感染地はインド、推定感染経路は飲食物による経口感染であった。
腸管出血性大腸菌感染症 1件 患者。血清型・毒素型はO165(VT2)、年齢は10歳未満であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 1件 推定感染地は国内、推定感染経路は飲食物(鹿肉)による経口感染であった。
A型肝炎 4件 全て推定感染地は国内、推定感染経路は飲食物(カキ3件、不明1件)による経口感染であった。
デング熱 2件 血清型は1型1件、2型1件で、推定感染地はインドネシア1件、カンボジア1件である。
レプトスピラ症 1件 推定感染地はマレーシアで、河川及びネズミとの接触による感染が疑われている。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 5件 腸管アメーバ症4件、腸管外アメーバ症1件で、推定感染地は国内4件、フィリピン1件、推定感染経路は飲食物による経口感染2件、性的接触2件(同性間1件、異性間1件)、その他(不明)1件であった。
急性脳炎 3件 病原体は水痘帯状疱疹ウイルス1件、不明2件で、年齢は30歳代1件、60歳代1件、70歳代1件であった。
クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 医源性CJDで、年齢は60歳代であった。
後天性免疫不全症候群 15件 無症候キャリア9件、AIDS4件、その他2件。無症候キャリアおよびその他の年齢は20歳代3件、30歳代4件、40歳代2件、50歳代1件、60歳代1件、AIDS患者の年齢は20歳代1件、30歳代1件、40歳代1件、50歳代1件である。推定感染地は国内13件、不明2件、推定感染経路は性的接触13件(同性間10件、異性間2件、両性間1件)、性的接触及び静注薬物1件、不明1件であった。
梅毒 5件 早期顕症梅毒Ⅱ期2件、無症候3件。推定感染地は国内4件、国外(渡航先不明)1件、推定感染経路は性的接触(同性間2件、異性間1件、不明2件)であった。
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1件 耐性遺伝子はVanAで、尿から菌が分離・同定されている。
風しん 1件 検査診断例で、年齢は30歳代、風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。
麻しん 1件 修飾麻しん(検査診断例)で、年齢は10歳代、麻しん含有ワクチン接種歴は1回であった。

定点把握対象疾患 報告数 2010年11週

定点種別	対象疾患	2010年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		8週	9週	10週	11週	(定点当たり)		
小児科	RSウイルス感染症	83	77	66	46	0.32	143	150
	咽頭結膜熱	29	24	22	18	0.13		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	301	286	247	243	1.70		
	感染性胃腸炎	1,892	1,627	1,690	1,584	11.08		
	水痘	187	271	225	296	2.07		
	手足口病	8	8	22	29	0.20		
	伝染性紅斑	41	38	34	35	0.24		
	突発性発しん	75	82	90	79	0.55		
	百日咳	4	1	5	2	0.01		
	ヘルパンギーナ	9	7	8	6	0.04		
	流行性耳下腺炎	96	108	105	99	0.69		
	不明発しん症(注1)	19	7	5	10	0.07		
MCLS(川崎病)(注1)	2	3	4	3	0.02			
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	405	179	95	89	0.31	283	290
眼科	急性出血性結膜炎	2	5	1	1	0.03	39	39
	流行性角結膜炎	9	10	13	13	0.33		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)	1	1	1	0	0.00	23	24
	無菌性髄膜炎	0	2	1	0	0.00		
	マイコプラズマ肺炎	9	8	8	5	0.22		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.00		
2010/3/24集計								

(注1) 不明発しん症、MCLS(川崎病)は東京都が独自に指定する疾患である。

(注2) 鳥インフルエンザ感染症を除く。

(注3) 髄膜炎菌性髄膜炎を除く。

風しん、麻しん、成人麻しんは2008年第1週より全数把握対象疾患に変更。

(定点把握対象疾患のコメント)

- ・RSウイルス感染症の定点当たり報告数は減少した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。過去5年平均の同時期と比較して多い。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は微減した。今シーズンは感染症法施行(1999年)以来、最大の報告数となっており、引き続き注意が必要である。

(定点医療機関からのコメント)

みなと保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:30名中、ロタウイルス性腸炎11名。

世田谷区保健所管内定点医療機関

- ・流行性耳下腺炎:4歳児、水痘と同時発症。

多摩立川保健所管内定点医療機関

- ・感染性胃腸炎:21名中、ロタウイルス性腸炎5名。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2010年11週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
～5か月	15			9	4		1	2		
～11か月	9	1	1	60	12	2	2	31		1
1歳	19	3	3	185	33	10	2	37	1	1
2歳	1	3	11	159	44	6	2	5		2
3歳	2	1	17	122	41	2	1	1		
4歳		1	25	145	57	2	3	3		
5歳		5	51	140	56	3	6			1
6歳		2	33	111	25	2	5			
7歳		2	31	115	9		4			
8歳			23	94	9	1	3			1
9歳			15	57	3		5			
10～14歳			20	158	3		1			
15～19歳			3	18						
20～29歳			10	211		1			1	
30～39歳										
40～49歳										
50～59歳										
60～69歳										
70～79歳										
80歳以上										
合計	46	18	243	1584	296	29	35	79	2	6
先週比	-20	-4	-4	-106	71	7	1	-11	-3	-2

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性耳下腺炎	不明発しん症	MCLS(川崎病)	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎
～5か月			1			
～11か月		1	1	1		
1歳	4	7		1		
2歳	7	1		1		
3歳	10			6		
4歳	15			4		
5歳	14		1	4		
6歳	10			3		
7歳	11			6		
8歳	9			5		
9歳	6			8		
10～14歳	12	1		8		
15～19歳				10		1
20～29歳	1			8		1
30～39歳				14		4
40～49歳				7		4
50～59歳				2		1
60～69歳					1	
70～79歳				1		2
80歳以上						
合計	99	10	3	89	1	13
先週比	-6	5	-1	-6		

注：小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

全数把握対象疾患 (風しん、麻しん)報告数

【年齢階級別】 2010年11週

	風しん	麻しん
0歳		
1歳		
2歳		
3歳		
4歳		
5歳		
6歳		
7歳		
8歳		
9歳		
10～14歳		1
15～19歳		
20～29歳		
30～39歳	1	
40～49歳		
50～59歳		
60～69歳		
70～79歳		
80歳以上		
合計	1	1

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2010年11週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				8	1			1		
中央区			4	9	5					
みなの	3	1	5	49	17	2	1	3		
新宿区	3	3	11	39	8		2	1		
文京		1	8	10	4		2	1		
台東			6	53	2			2		2
墨田区	3		8	23	9	2		2		
江東区	2		12	97	6		2	2		
品川区	1		8	71	8	4		2		
目黒区			1	8	5	1		1		
大田区	9	7	13	120	35		1	8		
世田谷	2		7	121	18	3		3		2
渋谷区			2	26	6					
中野区		2	5	73	6		2	6		
杉並	1		12	85	8		1	4		
池袋			1	9	4	1		5		
北区			10	16		4		2		
荒川区		1	12	14	4			1		
板橋区				34	8	2		3	1	
練馬区	4		4	70	14	1		1	1	
足立	1		13	38	4		4	2		
葛飾区			8	36	8		7	4		
江戸川	5	1	12	98	27			3		
八王子市	1	1	25	98	16	2	2	8		1
西多摩			4	27	1	1				
南多摩			11	49	6		1	3		
町田	1		21	130	22	1	7			1
多摩立川		1	2	43	4	1		1		
多摩府中	2		5	54	24		2	3		
多摩小平	8		13	76	16	4	1	7		
島しょ										
東京都合計	46	18	243	1,584	296	29	35	79	2	6

全数把握対象疾患
(風しん、麻しん)報告数

【保健所別】2010年11週

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			2			
中央区						3
みなと	6			2		
新宿区	2			6		2
文京	1			3		1
台東						
墨田区	2	2		1		
江東区	5			2		1
品川区	8	1		4		
目黒区						
大田区	5			14		
世田谷	2			4		1
渋谷区	1			1		
中野区		2		5		
杉並	2			2		1
池袋	2					
北区				11		
荒川区		1		1		
板橋区	5					
練馬区	3	1		3		1
足立	2		1	1		2
葛飾区	7			5		1
江戸川	5			1		
八王子市	9	1		9		
西多摩	8			1		
南多摩	1			1		
町田	6			5		
多摩立川	2			2		
多摩府中	11			2	1	
多摩小平	4	1		3		
島しょ		1				

東京都合計	99	10	3	89	1	13
-------	----	----	---	----	---	----

	風しん	麻しん
千代田		
中央区		
みなと		
新宿区		
文京		
台東		
墨田区	1	
江東区		
品川区		
目黒区		
大田区		
世田谷		
渋谷区		
中野区		
杉並		
池袋		
北区		
荒川区		
板橋区		
練馬区		
足立		1
葛飾区		
江戸川		
八王子市		
西多摩		
南多摩		
町田		
多摩立川		
多摩府中		
多摩小平		
島しょ		

東京都合計	1	1
-------	---	---

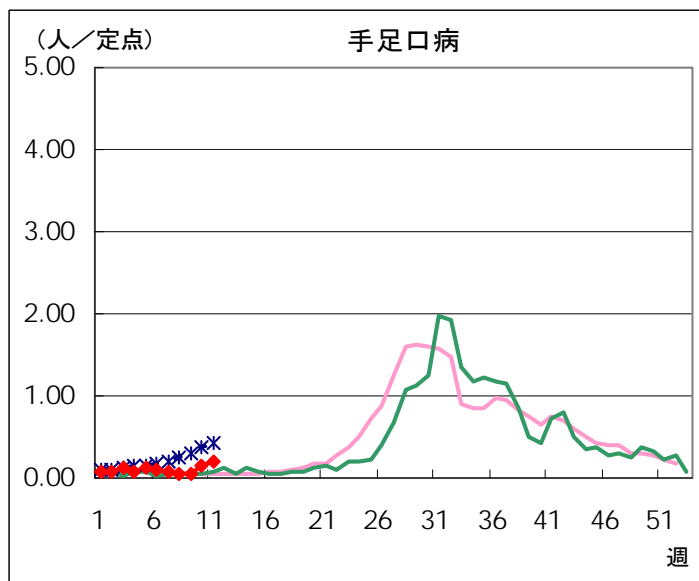
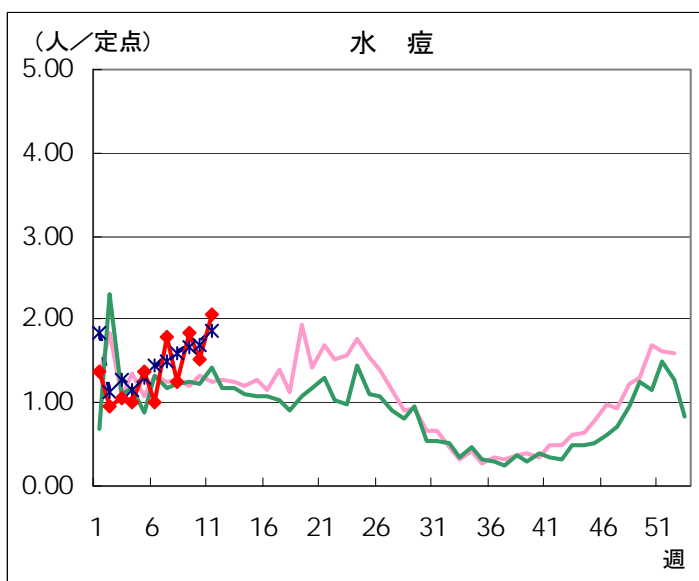
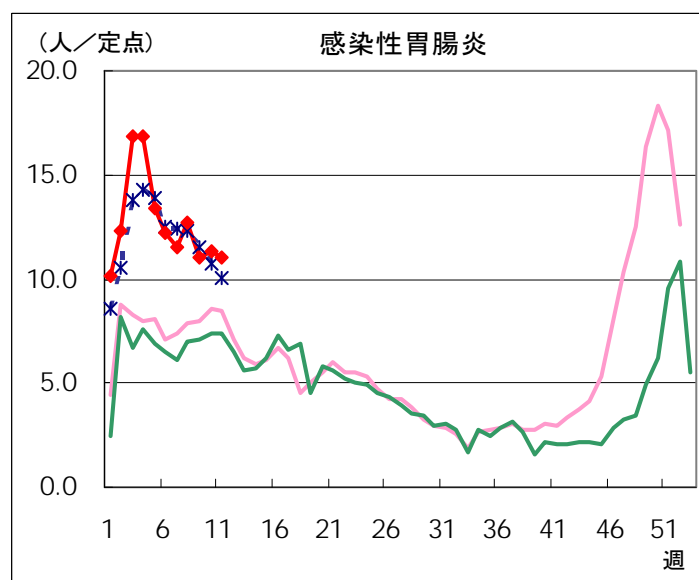
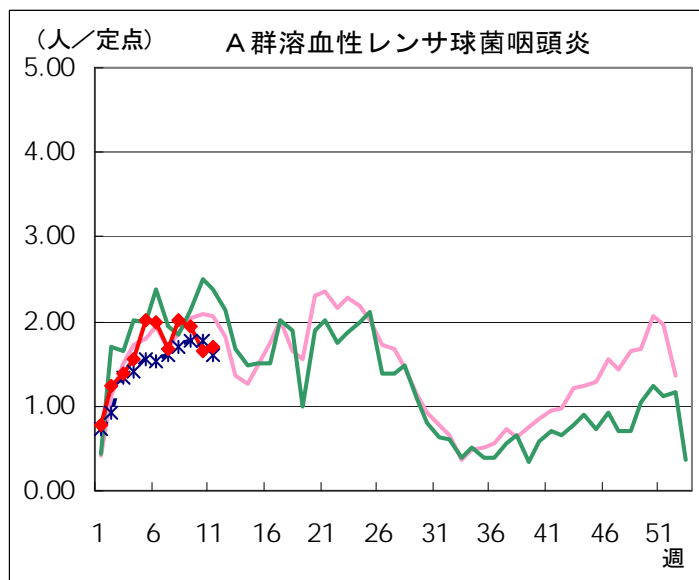
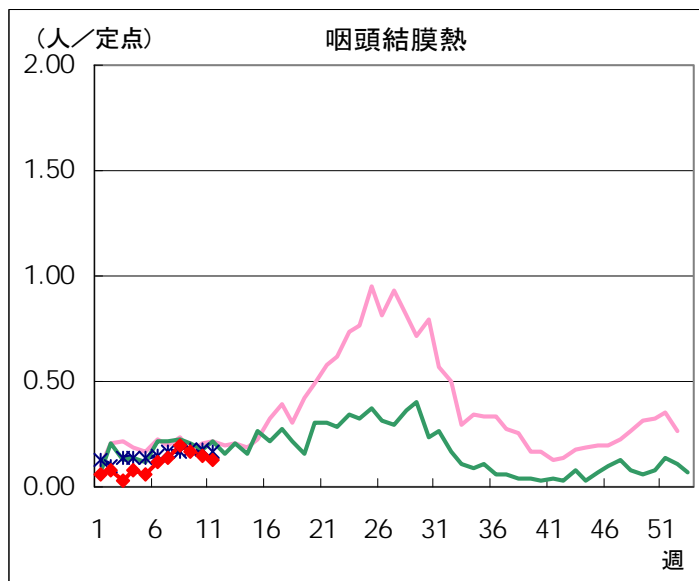
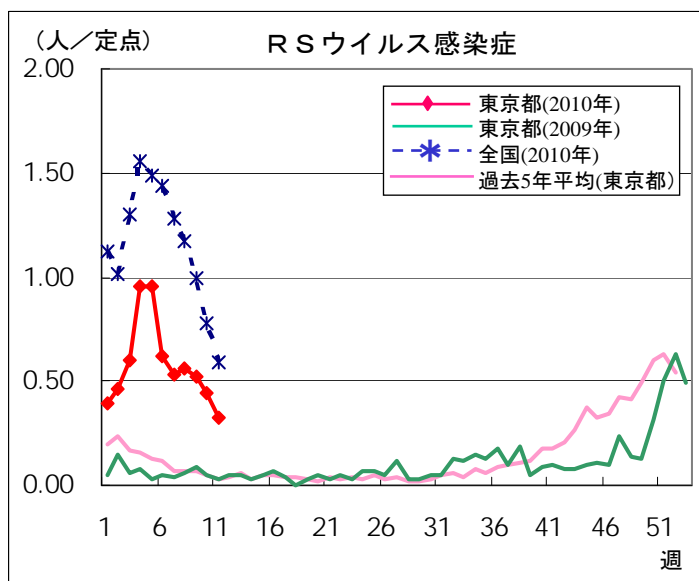
定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2010年11週

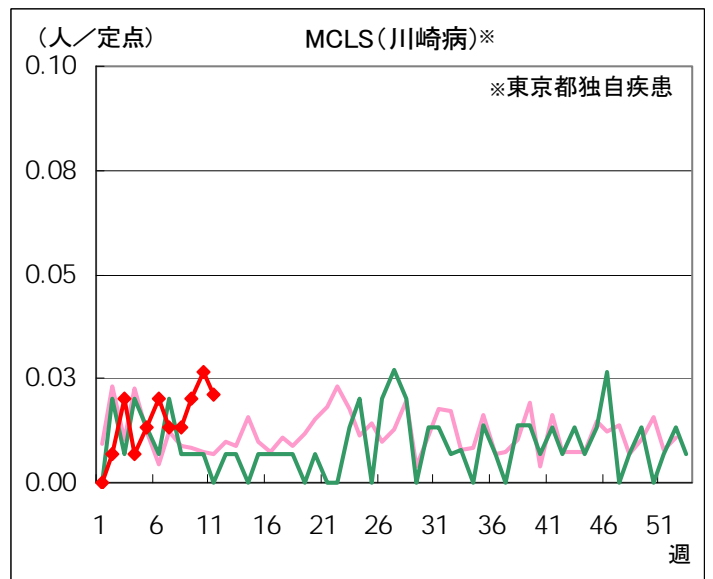
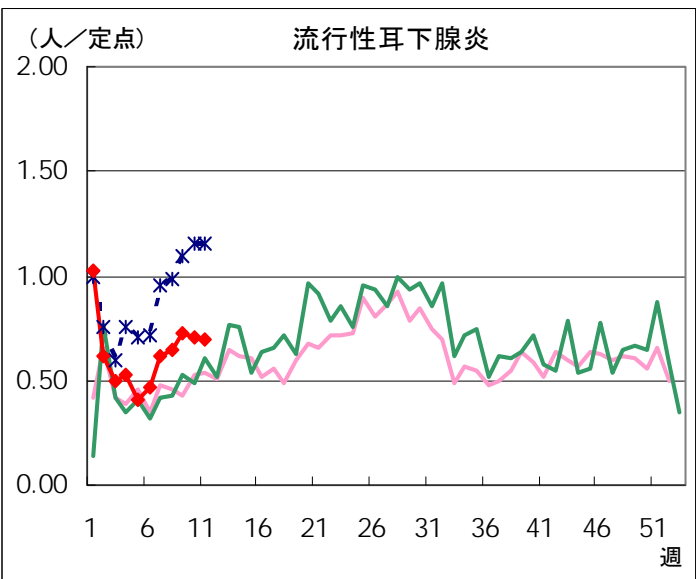
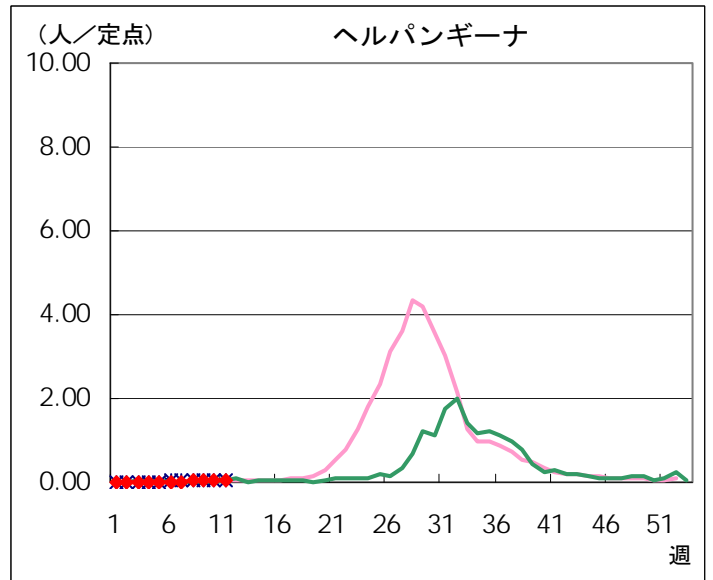
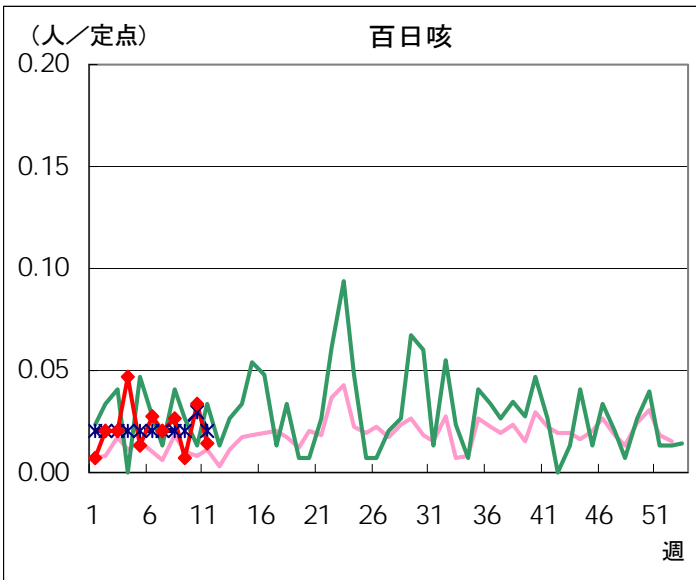
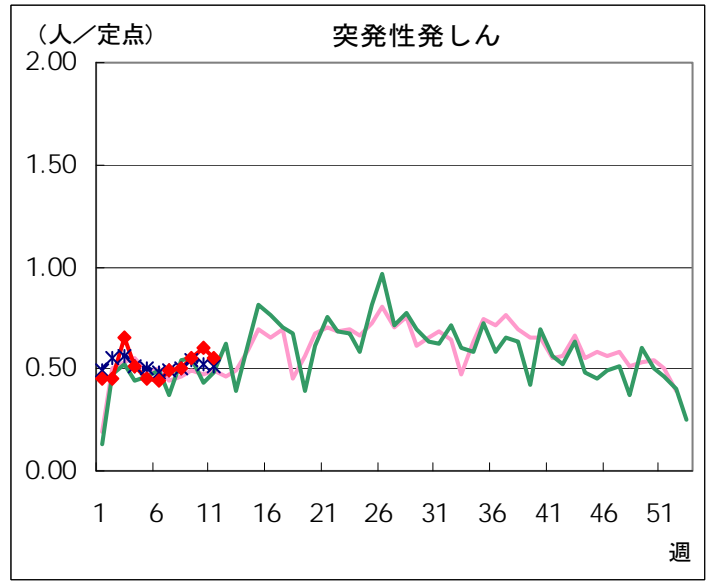
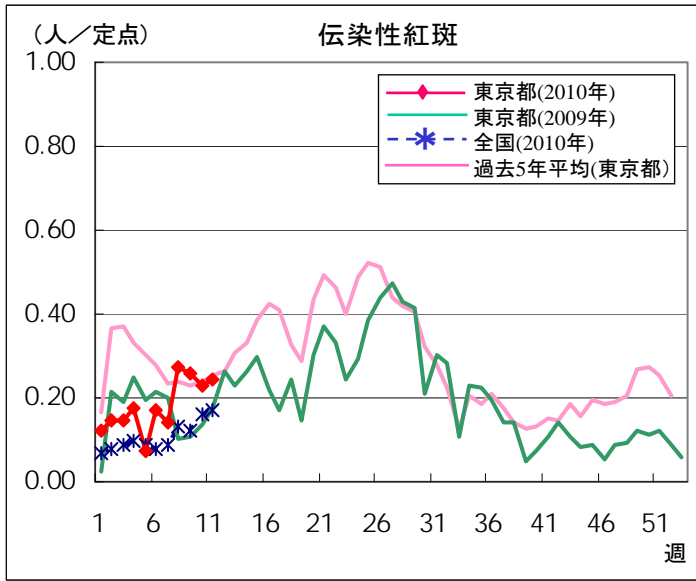
定点種別	小児科									
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				2.67	0.33			0.33		
中央区			1.33	3.00	1.67					
みなと	0.50	0.17	0.83	8.17	2.83	0.33	0.17	0.50		
新宿区	0.50	0.50	1.83	6.50	1.33		0.33	0.17		
文京		0.33	2.67	3.33	1.33		0.67	0.33		
台東			2.00	17.67	0.67			0.67		0.67
墨田区	1.00		2.67	7.67	3.00	0.67		0.67		
江東区	0.50		3.00	24.25	1.50		0.50	0.50		
品川区	0.17		1.33	11.83	1.33	0.67		0.33		
目黒区			0.33	2.67	1.67	0.33		0.33		
大田区	1.00	0.78	1.44	13.33	3.89		0.11	0.89		
世田谷	0.25		0.88	15.13	2.25	0.38		0.38		0.25
渋谷区			0.50	6.50	1.50					
中野区		0.33	0.83	12.17	1.00		0.33	1.00		
杉並	0.17		2.00	14.17	1.33		0.17	0.67		
池袋			0.20	1.80	0.80	0.20		1.00		
北区			3.33	5.33		1.33		0.67		
荒川区		0.50	6.00	7.00	2.00			0.50		
板橋区				5.67	1.33	0.33		0.50	0.17	
練馬区	0.80		0.80	14.00	2.80	0.20		0.20	0.20	
足立	0.20		2.60	7.60	0.80		0.80	0.40		
葛飾区			2.00	9.00	2.00		1.75	1.00		
江戸川	1.25	0.25	3.00	24.50	6.75			0.75		
八王子市	0.25	0.25	6.25	24.50	4.00	0.50	0.50	2.00		0.25
西多摩			1.00	6.75	0.25	0.25				
南多摩			2.75	12.25	1.50		0.25	0.75		
町田	0.25		5.25	32.50	5.50	0.25	1.75			0.25
多摩立川		0.17	0.33	7.17	0.67	0.17		0.17		
多摩府中	0.29		0.71	7.71	3.43		0.29	0.43		
多摩小平	1.33		2.17	12.67	2.67	0.67	0.17	1.17		
島しょ										
東京都	0.32	0.13	1.70	11.08	2.07	0.20	0.24	0.55	0.01	0.04

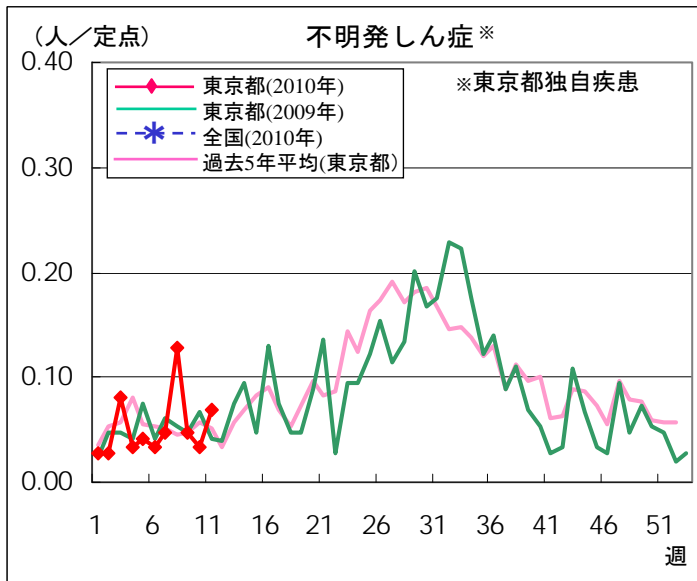
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科	
	流行性 耳下腺炎	不明 発しん症	MCLS (川崎病)	インフルエ ンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎
千代田			0.67			
中央区						3.00
みなと	1.00			0.25		
新宿区	0.33			0.67		1.00
文京	0.33			0.60		1.00
台東						
墨田区	0.67	0.67		0.17		
江東区	1.25			0.22		1.00
品川区	1.33	0.17		0.40		
目黒区						
大田区	0.56			0.88		
世田谷	0.25			0.25		0.50
渋谷区	0.25			0.17		
中野区		0.33		0.56		
杉並	0.33			0.17		1.00
池袋	0.40					
北区				1.57		
荒川区		0.50		0.25		
板橋区	0.83					
練馬区	0.60	0.20		0.25		0.50
足立	0.40		0.20	0.08		1.00
葛飾区	1.75			0.56		1.00
江戸川	1.25			0.09		
八王子市	2.25	0.25		0.90		
西多摩	2.00			0.13		
南多摩	0.25			0.11		
町田	1.50			0.56		
多摩立川	0.33			0.15		
多摩府中	1.57			0.11	0.33	
多摩小平	0.67	0.17		0.21		
島しょ		1.00				
東京都	0.69	0.07	0.02	0.31	0.03	0.33

定点把握対象疾患 報告数【週別発生状況】 2010年11週現在

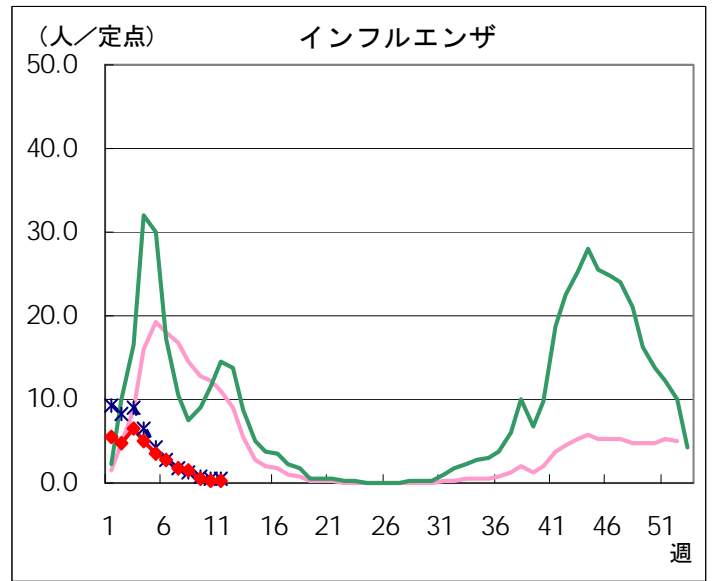
◆ 小児科定点



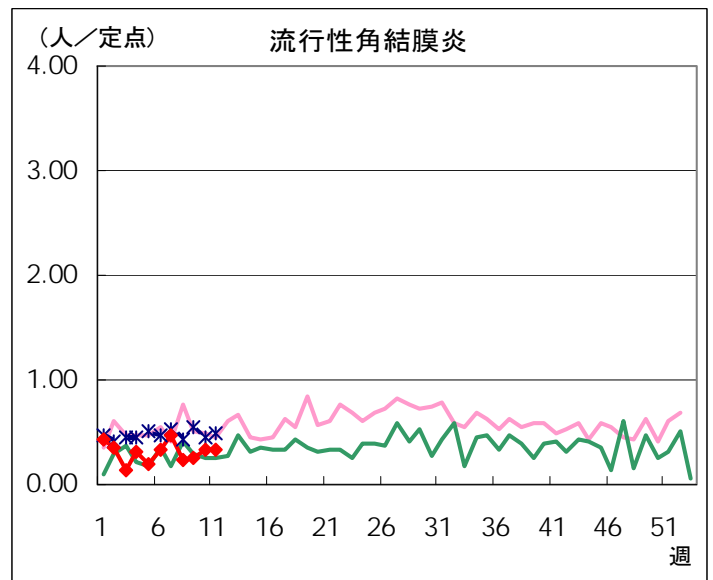
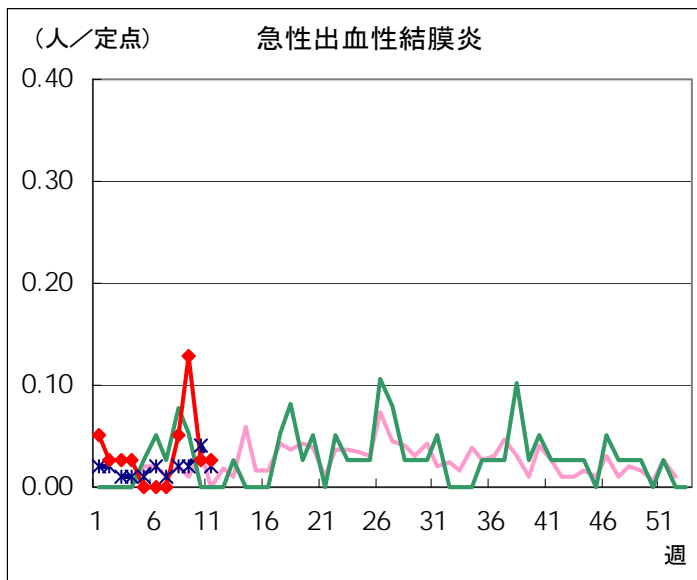




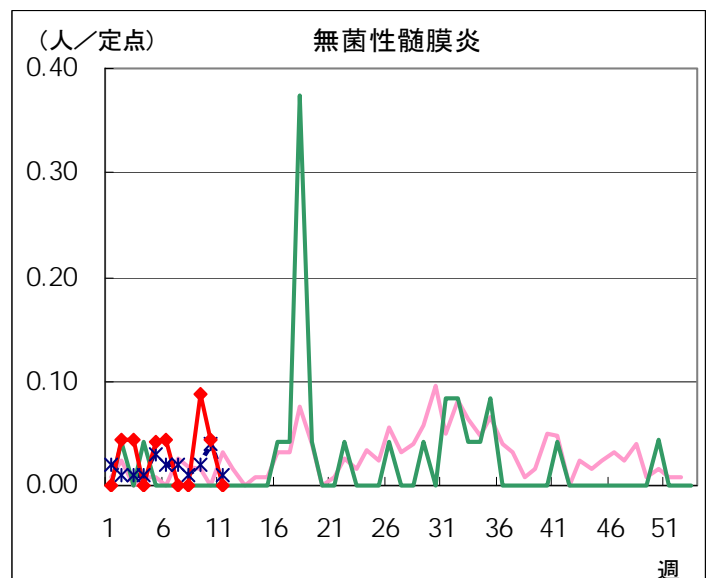
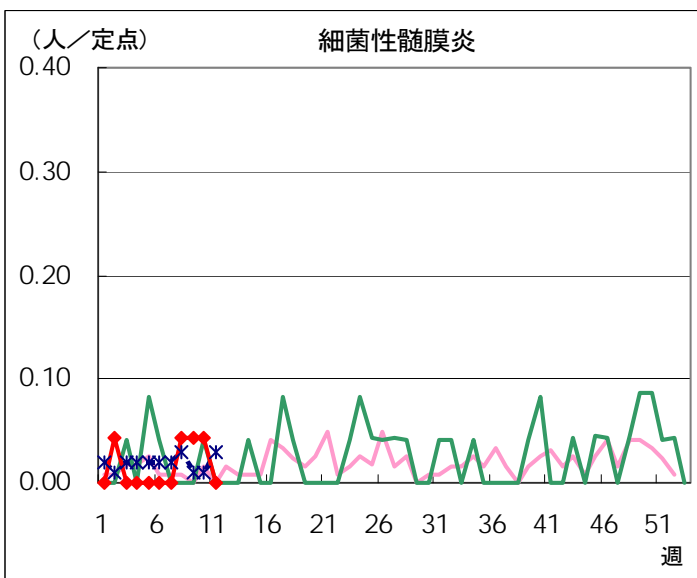
◆ インフルエンザ定点

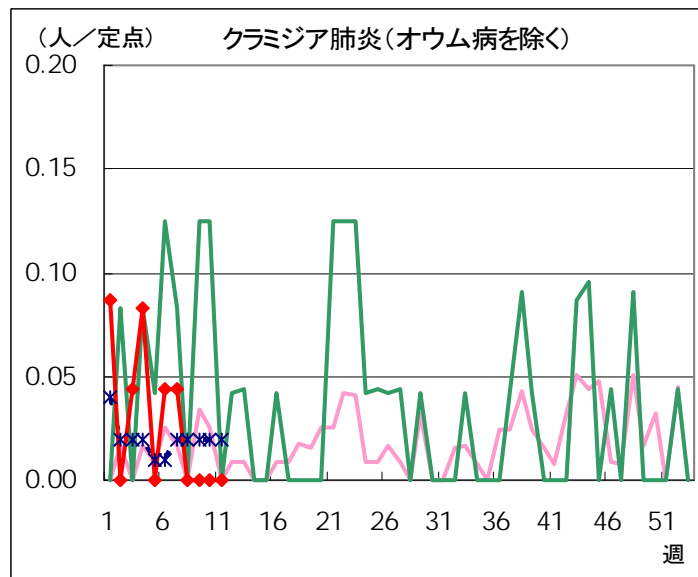
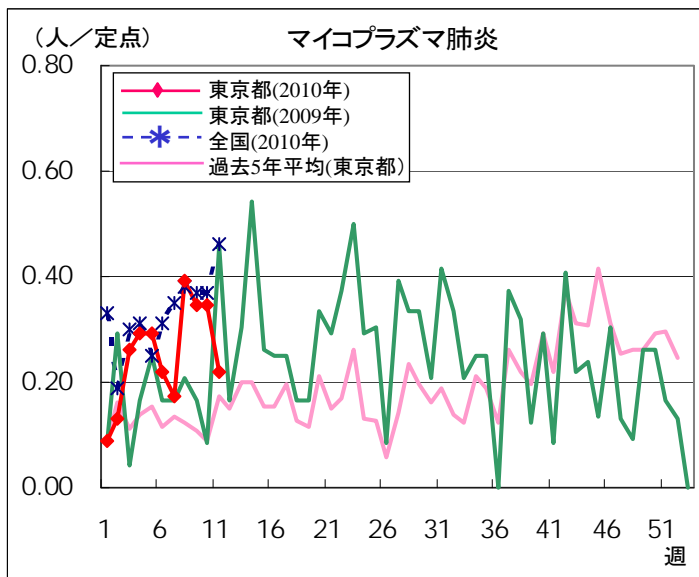


◆ 眼科定点

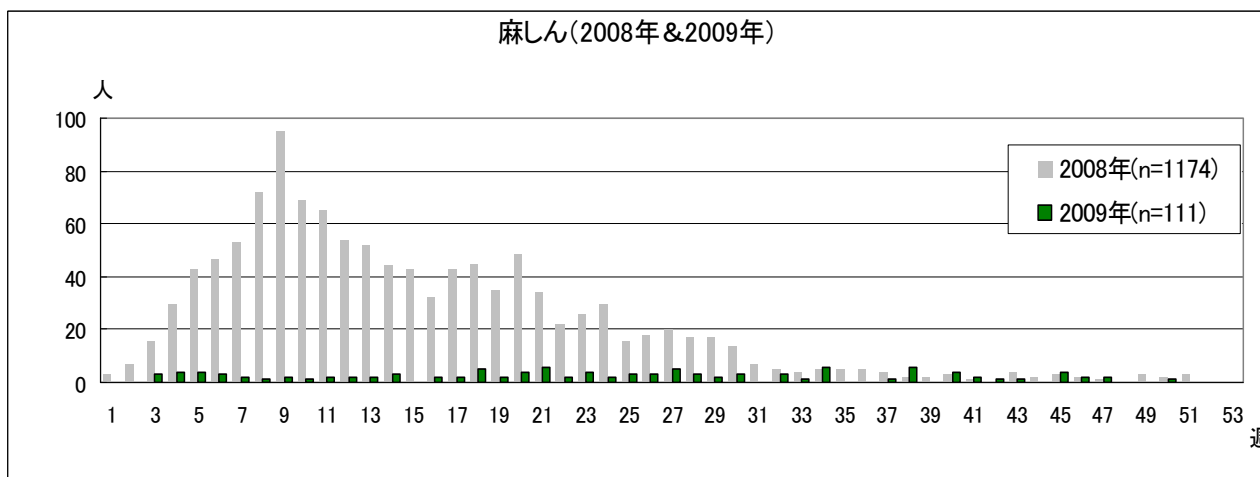
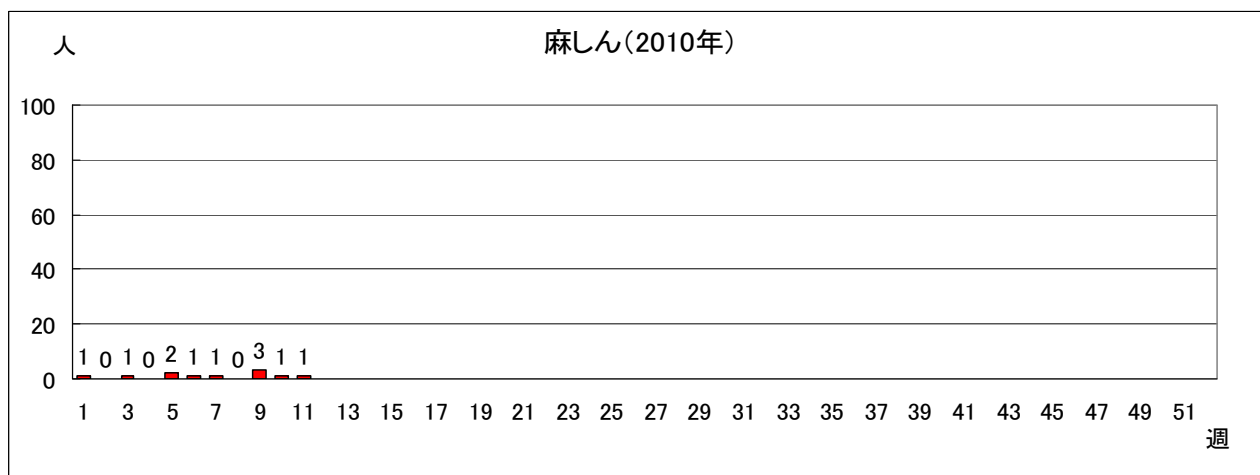


◆ 基幹定点





全数把握対象疾患 報告数【週別保健所受理状況】 2010年11週現在



定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況

*原則として検体採取日の順に掲載しています。

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
2/13	急性扁桃炎	4	菌株(咽頭由来)	<i>S.pyogenes</i> (T-1型)	血清型
2/18	急性咽頭炎	5	菌株(咽頭由来)	<i>S.pyogenes</i> (T-3/13型)	
2/19	急性咽頭炎	2	菌株(咽頭由来)	<i>S.pyogenes</i> (T-12型)	
2/22	急性扁桃炎	8	菌株(咽頭由来)	<i>S.pyogenes</i> (T-4型)	
2/23	感染性胃腸炎	1	糞便	ノロウイルス、A群ロタウイルス	遺伝子抗原
3/3	扁桃腺炎	3	咽頭拭い液	EBウイルス	遺伝子
3/4	喘息性気管支炎	8M	咽頭拭い液	RSウイルス	
3/4	頸部リンパ節炎	2	咽頭拭い液	エンテロウイルス	
3/6	インフルエンザ	5	鼻汁	アデノウイルス	
3/7	無菌性髄膜炎	4	髄液	ムンプスウイルス	
3/8	川崎病	4	咽頭拭い液	ライノウイルス	
3/10	突発性発しん	5M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
3/10	水痘	1	咽頭拭い液	ライノウイルス	
3/10	肺炎	4	咽頭拭い液	アデノウイルス	
3/11	急性気管支炎	5	咽頭拭い液	アデノウイルス	
3/12	急性気管支炎	2	咽頭拭い液	アデノウイルス	
3/12	頸部リンパ節炎	11	咽頭拭い液	EBウイルス	
3/12	じんましん	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス6型	
記載なし	小児喘息性気管支炎	1	咽頭拭い液	RSウイルス	

◇積極的疫学調査による搬入検体

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
1/19 ※3	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	72	菌株(血液由来)	<i>S.pyogenes</i> (T-12型)	血清型
2/9 ※2	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	38	菌株(血液由来)	<i>S.pyogenes</i> (T-1型)	
2/16 ※2	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	85	菌株(尿由来)	<i>Enterococcus faecalis</i> (vanB遺伝子)	分離同定 遺伝子
2/22 ※4	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	8	菌株(血液由来)	<i>S.pyogenes</i> (T-1型)	血清型
記載なし ※1	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	50	菌株(腹水由来)	<i>Enterococcus casseliflavus</i> (vanC2遺伝子)	遺伝子

※1: 6週報告の全数把握対象疾患症例からの検体

※2: 7週報告の全数把握対象疾患症例からの検体

※3: 8週報告の全数把握対象疾患症例からの検体

※4: 9週報告の全数把握対象疾患症例からの検体

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型

検出件数	インフルエンザウイルス			
	AH1型	AH3型	B型	AH1pdm(新型)*
10週	0	0	1	6
今シーズン累計**	1	0	4	725

*: 新型インフルエンザウイルス(ブタ由来インフルエンザウイルスA/H1N1)。

** : 2009-2010シーズンの開始は第36週(8月31日~9月6日)。

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2010年							
		3週	4週	5週	6週	7週	8週	9週	10週
ウイルス	アデノウイルス	12	8	9	5	2	14	2	4
	ライノウイルス	5	1	2	1	3	3	1	3
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群								
	コクサッキーウイルスB群								
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	1	1	1	3		1		1
	単純ヘルペスウイルス						1	2	
	水痘・帯状疱疹ウイルス	1					1		
	ヘルペスウイルス6/7	2	3	3	4			3	1
	EBウイルス	3	1	4		1			2
	サイトメガロウイルス	2			1		1		
	ムンプスウイルス	2		4	1		2	1	1
	麻疹ウイルス				1				
	風疹ウイルス								
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス	5	9	7	2	9	5	3	2
	ノロウイルス	3	14	2	2	9	2		1
	ロタウイルス	1				5	2	1	1
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3								
	インフルエンザウイルスB				1		1	1	1
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	34	19	29	20	17	22	6	6	
デングウイルス(抗体を含む)			3						
その他のウイルス			1						
細菌	カンピロバクター								
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌	3					4	4	
	その他の細菌				1		1		
その他の病原体		1							

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2010年2週～2010年10週

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他	
搬入検体数	180	42	65	62	25	2		3		3	1	13	12	2	1		112	
ウイルス	アデノウイルス	8	6	18	10		1					3	2				8	
	ライノウイルス	2		3	2							1	1	1			9	
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群																	
	コクサッキーウイルスB群																	
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	1			2					3		1						1
	単純ヘルペスウイルス								1									2
	水痘・帯状疱疹ウイルス														2			
	ヘルペスウイルス6/7			3						1		4						8
	EBウイルス		2			2				1			2					4
	サイトメガロウイルス											3						1
	ムンプスウイルス					3								7				1
	麻疹ウイルス											1						
	風しんウイルス																	
	パルボウイルスB19																	
	RSウイルス			3	33	2												4
	ノロウイルス				2	25												6
	ロタウイルス					9												1
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3																		
インフルエンザウイルスB	4																	
新型インフルエンザウイルスAH1pdm	149	1	2														1	
デングウイルス(抗体を含む)																	3	
その他のウイルス				1														
細菌	カンピロバクター																	
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌		10														1	
その他の細菌																	2	
その他の病原体			1															

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2010年2月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり 報告数	報告医療 機関数	定点医療 機関数
性 感 染 症	性器クラミジア感染症	男	112	2.04	55	55
		女	73	1.33		
	性器ヘルペスウイルス 感染症	男	58	1.05		
		女	40	0.73		
	尖圭コンジローマ	男	46	0.84		
		女	31	0.56		
	淋菌感染症	男	61	1.11		
		女	7	0.13		
	膺トリコモナス症*	男	0	0.00		
		女	14	0.25		
梅毒様疾患	男	3	0.05			
	女	1	0.02			
基 幹	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	男	45	1.96	23	24
		女	21	0.91		
	ペニシリン耐性 肺炎球菌感染症	男	16	0.70		
		女	12	0.52		
	薬剤耐性 緑膿菌感染症	男	2	0.09		
		女	0	0.00		
2010/3/15						

* 性感染症定点から報告される『膺トリコモナス症』とは、原虫の一種である膺トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膺、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【年齢階級別】2010年2月

男						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳						
15～19歳	6	2		4		
20～24歳	18	3	3	9		1
25～29歳	20	6	4	14		
30～34歳	19	8	7	16		1
35～39歳	16	9	8	7		
40～44歳	17	12	9	4		
45～49歳	7	6	7	4		
50～54歳	4	4	5	1		1
55～59歳	1	3	2	1		
60～64歳	1	2	1			
65～69歳		1		1		
70歳～	3	2				
合計	112	58	46	61		3
先月数	97	66	49	64		7
増減数	15	-8	-3	-3		-4

女						
年齢階級	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
0歳						
1～4歳						
5～9歳						
10～14歳	1		1		1	
15～19歳	12	1		1	2	
20～24歳	18	5	4	4	1	
25～29歳	23	8	13	2	3	
30～34歳	10	11	6			1
35～39歳	4	4	4			
40～44歳	3	1	3		1	
45～49歳	1	2			3	
50～54歳	1	2			2	
55～59歳		1				
60～64歳						
65～69歳		1				
70歳～		4			1	
合計	73	40	31	7	14	1
先月数	91	44	30	10	11	1
増減数	-18	-4	1	-3	3	

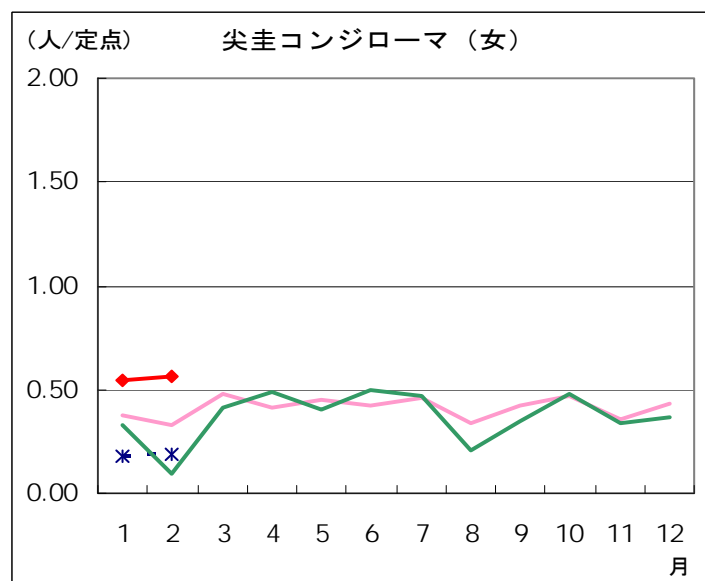
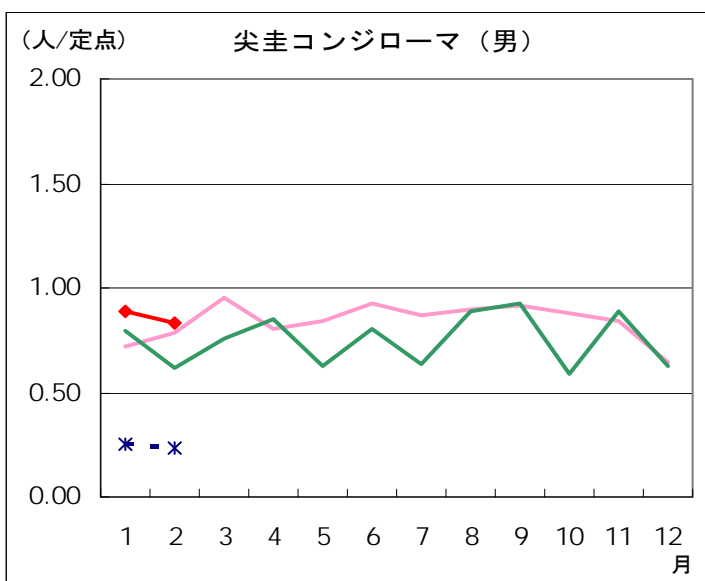
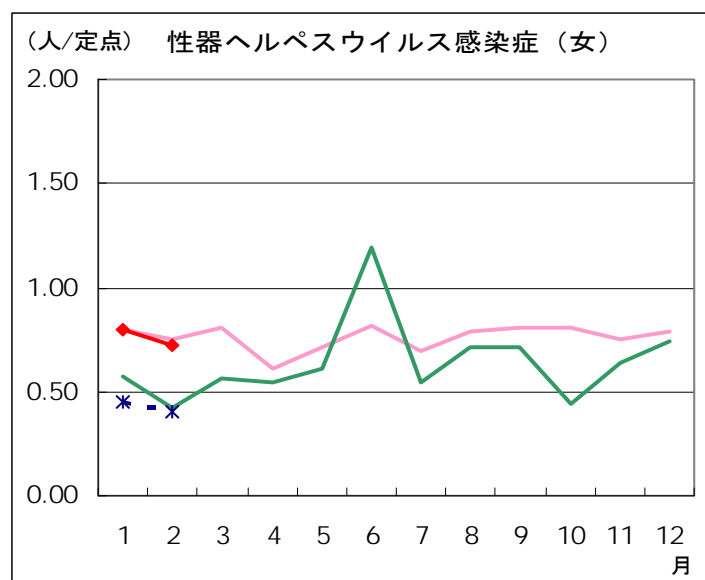
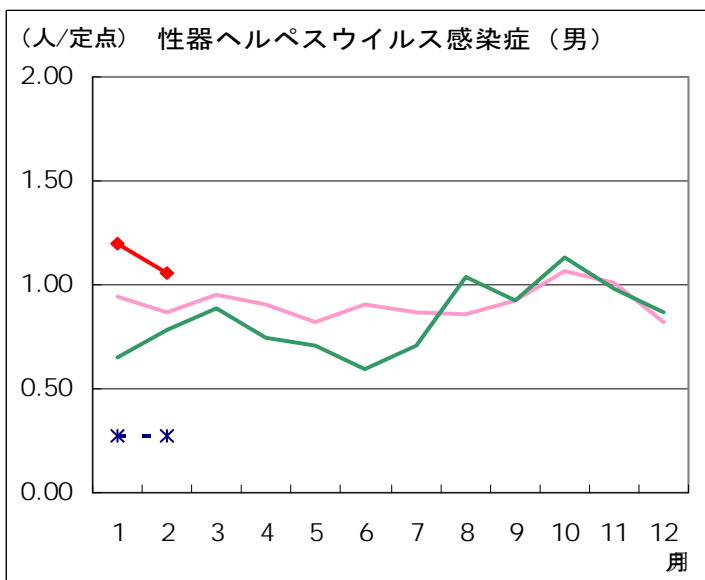
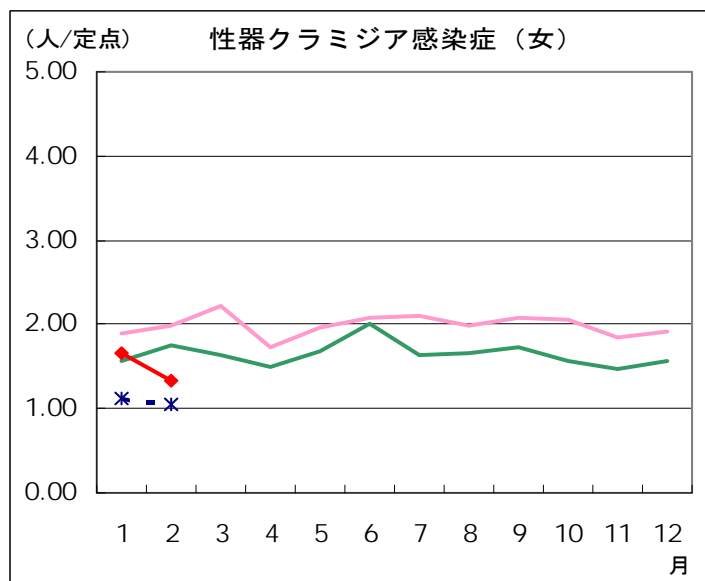
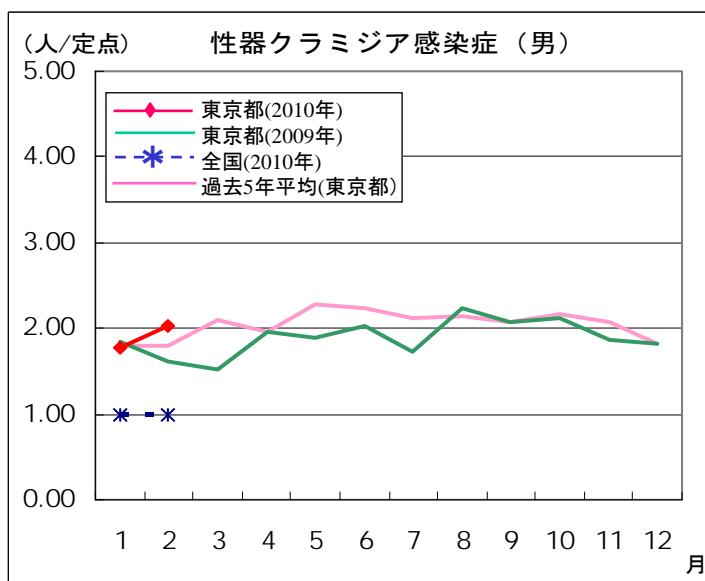
月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数【保健所別】 2010年2月

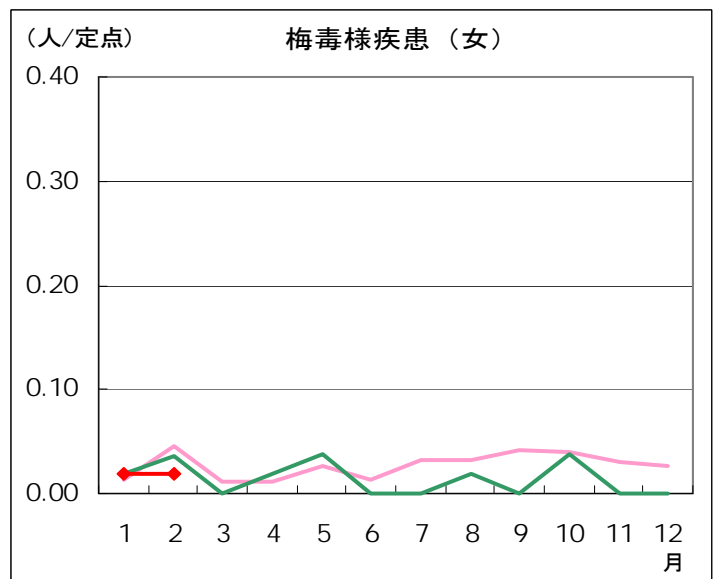
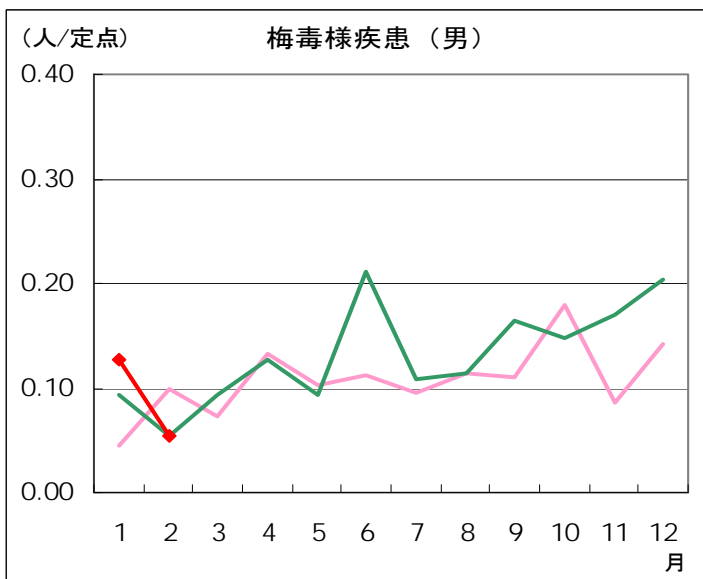
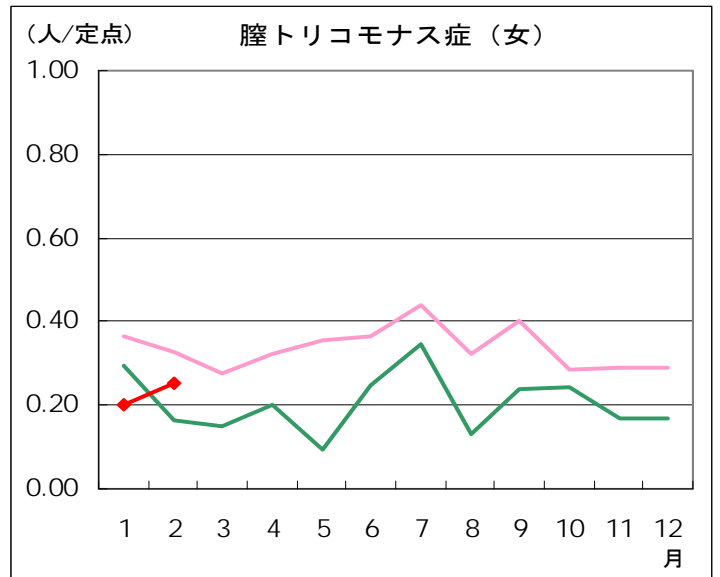
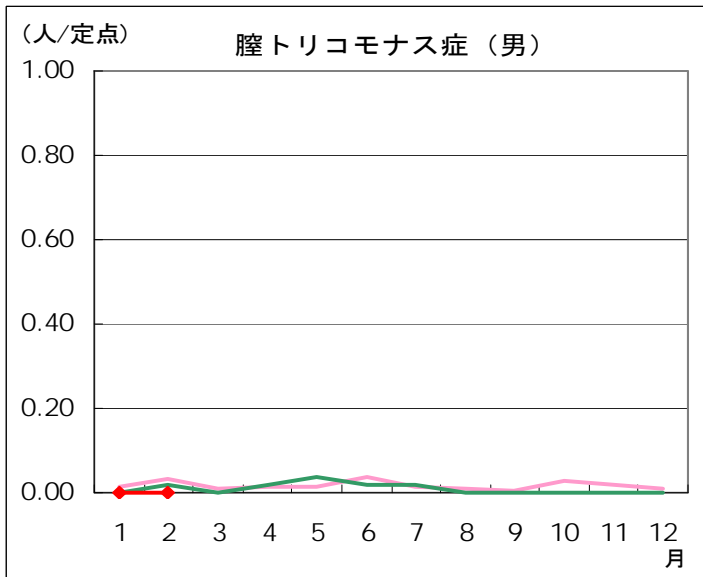
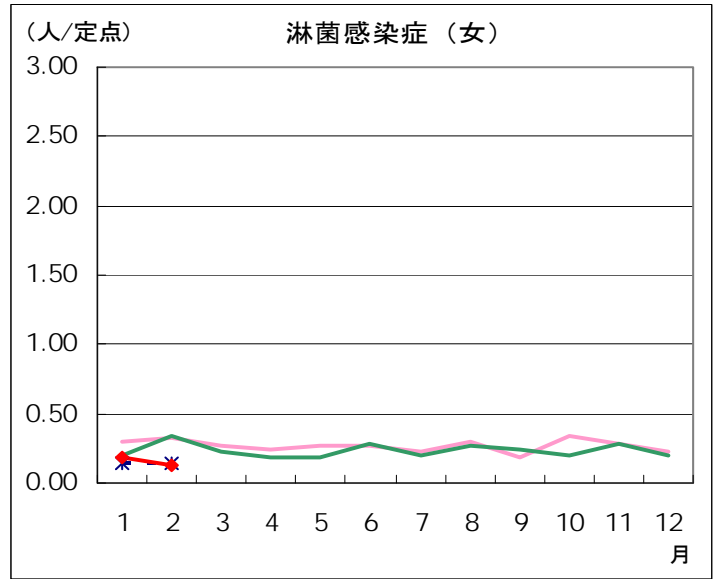
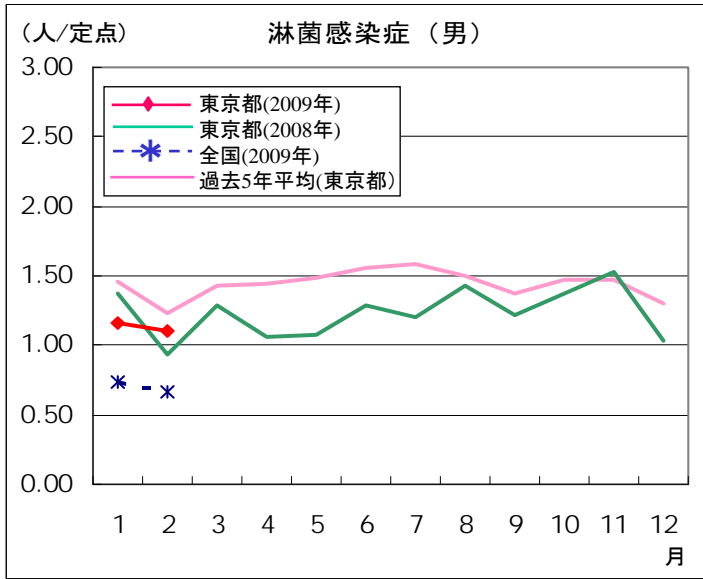
男							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2	8	5	2	7		
中央区	3	10		1	1		
みなの	2	10	23	5	5		
新宿区	7	21	11	24	15		2
文京	1	4	2	2	3		
台東	2						
墨田区	2	2	1	1			
江東区	2	9	4	3	9		
品川区	1	2			1		
大田区	2	3					
渋谷区	5	6	3		1		
中野区	2	9			4		
杉並	2	5			1		
池袋	3	13	5	5	7		1
北区	1		1	2	1		
荒川区	1						
板橋区	2	5		1	3		
足立	2	1	2		2		
江戸川	2	4	1		1		
八王子市	4						
町田	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	55	112	58	46	61		3
定点当たり		2.04	1.05	0.84	1.11		0.05

女							
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患
千代田	2						
中央区	3	3				3	
みなの	2	8	10	3	1		
新宿区	7	5	5	9	2	1	
文京	1						
台東	2	4	1				
墨田区	2		1	1			1
江東区	2	1		1			
品川区	1						
大田区	2						
渋谷区	5	3	7	11	1		
中野区	2	1		1		2	
杉並	2	1					
池袋	3	10	8	2	1	3	
北区	1						
荒川区	1	2	2				
板橋区	2	6	2	1	2	3	
足立	2						
江戸川	2	3					
八王子市	4	12		1		2	
町田	1		2				
多摩立川	2	14		1			
多摩府中	3						
多摩小平	1		2				
合 計	55	73	40	31	7	14	1
定点当たり		1.33	0.73	0.56	0.13	0.25	0.02

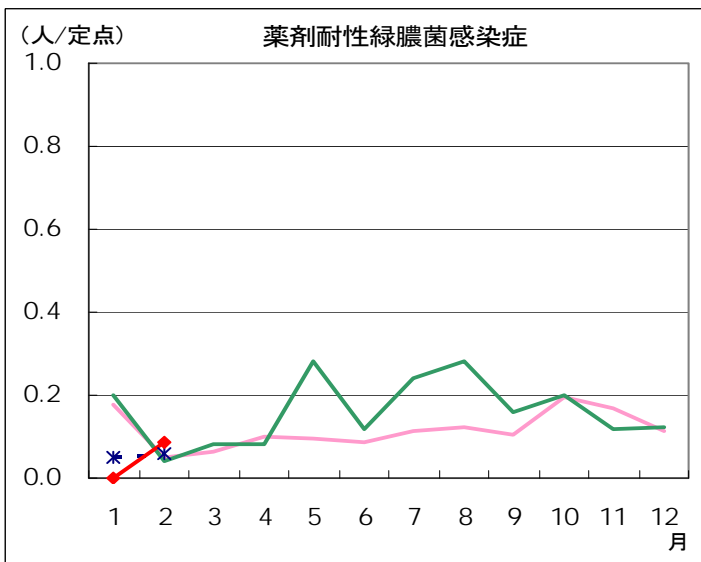
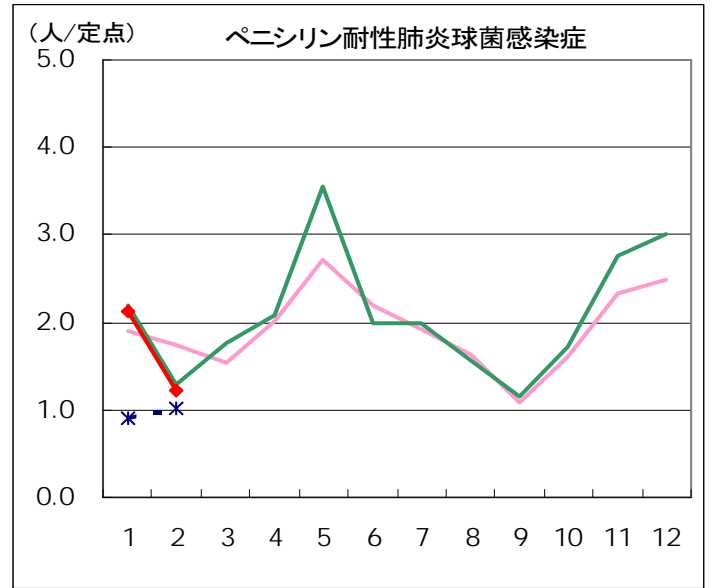
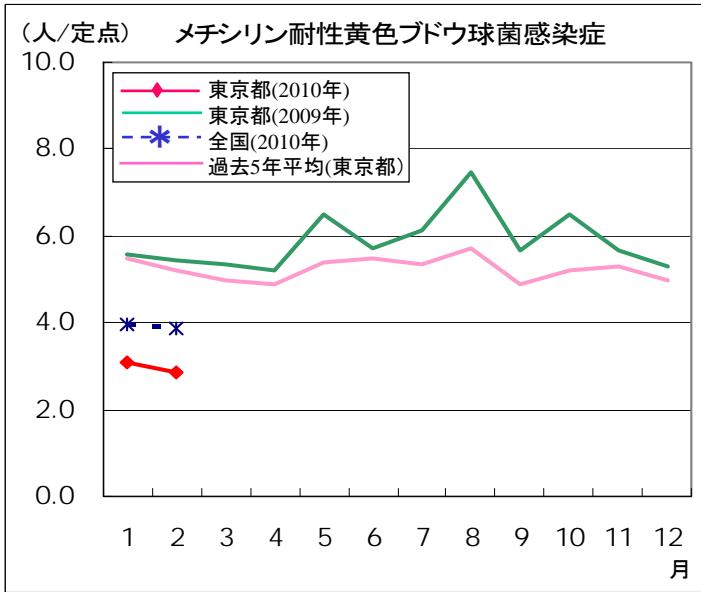
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2010年2月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



2月報告 病原体検査情報

◇定点(病原体)医療機関からの搬入検体

*原則として検体受付日の順に掲載しています。

受付月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体	検査法
2/1	尿道炎	73	男	尿	クラミジア	遺伝子
2/3	性器ヘルペス	40	男	その他	ヒト単純ヘルペスウイルス1型	
2/3	淋菌性尿道炎	45	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
2/4	陰茎コンジローマ	48	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒトパピローマウイルス6型	遺伝子
2/8	尿道炎	28	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	
2/10	淋菌性尿道炎	26	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	淋菌	遺伝子 分離同定
2/12	陰茎ヘルペス疑い	51	男	陰部尿道頸管擦過物/ 分泌物	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子
2/16	外陰部ヘルペス	75	女	皮膚病巣	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	
2/18	尿道炎	48	男	尿	淋菌	遺伝子 分離同定
2/22	性器ヘルペス	41	男	その他	ヒト単純ヘルペスウイルス2型	遺伝子